平成25年度
新ひだか町・新ひだか町教育委員会表彰

平成25年度新ひだか町・新ひだか町教育委員会表彰式を11月３日の文化の日に町公民館で行いました。

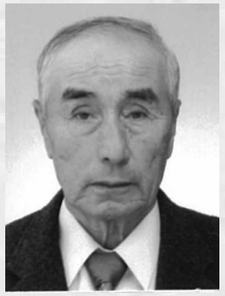
この表彰は、長年にわたり地方自治の振興や産業・社会福祉・教育文化の充実など、町の発展に大きな貢献をされた方々に贈っているものです。

今年度は、町表彰を１名、町教育委員会表彰を８名６団体が受賞。表彰式では、酒井町長と山田委員長から受賞者一人一人に賞状が贈られ、会場は温かく大きな拍手に包まれました。

各受賞者の略歴等は次ページ以降のとおりです。

新ひだか町表彰

社会貢献賞



前川 三佐生（まえかわ みさお）さん
（76歳／三石本桐）

多年にわたり、交通安全指導員として悲惨な交通事故から住民を守るために率先して街頭に立ち、運転者等に対する交通安全啓発を続けられ、本町の交通安全推進に大きく貢献されました。

【主な経歴】
- 三石町交通安全指導員
- 新ひだか町三石地区交通安全指導員
- 新ひだか町交通安全指導員
- 三石町交通安全指導員協議会副会長
- 本桐更生自治会長
- 三石土地改良区監事

新ひだか町教育委員会表彰

文化賞

加藤 恵美子（かとう えみこ）さん
（66歳／静内緑町）

昭和60年に静内社交ダンス同好会に入会以来、会の中心となって活動され、平成６年には、日高管内社交ダンス団体連絡協議会（現 全日高社交ダンス協会）の初代事務局長に就任し、多年にわたり、社交ダンスの普及発展に尽力されました。

また、新ひだか町文化団体協議会の事務局長を務められ、地域文化の振興と発展に大きく貢献されました。

静内プレクトラムアンサンブル

マンドリンのアンサンブルとしては日高管内唯一の団体として活動され、地域音楽祭への参加や福祉施設、医療機関及び自治会における慰問演奏等の奉仕活動を積極的に行う一方、道内の愛好団体との交流活動にも熱心に取り組まれ、地域における音楽文化の振興と発展に大きく貢献されました。

スポーツ賞

廣島 義清（ひろしま よしきよ）さん
（58歳／静内緑町）

昭和47年にソフトテニス少年団の指導者となって以来、多年にわたりソフトテニスの指導にあたり、現在、日本ソフトテニス連盟理事を務められるなど、ソフトテニスの普及発展のため全国的に活躍されています。

また、平成16年から町スポーツ少年団副本部長として活動され、当町における少年団活動の振興と発展に大きく貢献されました。

文化奨励賞

読み聞かせの会 おはなしつくしんぼ

昭和49年の発足以来、絵本読み聞かせを活動の基本として、ブックスタート事業等の図書館活動への協力、学校・福祉施設等での読み聞かせなど、子どもの読書活動の推進に大きく貢献されています。

小原 武志（おばら たけし） さん
（77歳／静内末広町）

公益社団法人日本詩吟学院認可・北海道樽前岳風会静内支部の理事長を多年にわたり務められ、詩吟発表会の企画や芸術祭への参加など、詩吟の充実発展に大きく貢献されています。

三上 恵子（みかみ けいこ） さん
（74歳／静内古川町）

平成5年に設立された大正琴日高恵み会の代表として多年にわたり尽力され、地域における大正琴の普及発展及び後継者育成に大きく貢献されています。

静内社交ダンス同好会

昭和38年に設立されて以来、日高管内の社交ダンス愛好者の模範的団体として活動し、平成6年に発足した日高管内社交ダンス団体連絡協議会（現 全日高社交ダンス協会）の中心的役割を果たされるとともに、社会奉仕活動にも熱心に取り組まれ、社交ダンスの充実発展に大きく貢献されています。

静内高等学校吹奏楽部

第58回北海道吹奏楽コンクール高等学校C編成の部において金賞を受賞されました。

スポーツ奨励賞

山崎 剛（やまざき つよし） さん
（46歳／三石本町）

平成16年から三石リトル野球協会の代表指導者を務め、少年野球の普及発展に尽力されるとともに、平成21年から町スポーツ少年団副本部長として活動され、当町における少年団活動の充実発展に大きく貢献されています。

静内農業高等学校馬術部

第47回全日本高等学校馬術競技大会北海道地区大会団体戦において優勝を果たされました。

教育奨励賞

静内第三中学校 男子バドミントン部

平成25年度北海道中学校体育大会兼第44回北海道中学校バドミントン大会男子団体の部において第3位の成績を収められました。

木元 絢美（きもと あやみ） さん
（15歳／静内こうせい町）

第33回全道中学校英語暗唱大会において優勝を果たされました。

田中 優蘭（たなか うらん） さん
（15歳／静内春立）

第35回北海道珠算選手権大会読上算競技中学生の部において優勝を果たされました。

重岡 佑季（しげおか ゆうき） さん
（14歳／静内末広町）

第37回北海道少年剣道練成大会中学生女子個人の部において第3位の成績を収められました。

白寿祝状授与

10/28

近 藤　溪 三 さん

９月26日に99歳の誕生日を迎えた近藤溪三さん（静内御園）に、入院先の静仁会静内病院で、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

近藤さんは静内目名の出身で、昭和17年に故・ひさこさんと結婚。１男２女の子どもに恵まれ、水田や軽種馬生産を営み、75歳まで続けました。また、運動が好きで、趣味のゲートボールを90歳まで楽しんでいました。

11/2

中 村　正 夫 さん

10月20日に99歳の誕生日を迎えた中村正夫さん（静内春立）に、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・地本副会長から記念品が贈られました。

中村さんは静内春立の出身で、コンブ漁など漁業を営み、ミトさん（95）と結婚。３男１女の子どもに恵まれ、現在も健康で元気に生活しています。この日は、子どもや孫、ひ孫など親族約40人がお祝いに駆けつけ、白寿を喜びました。

11/5

梶 原　ト メ さん

11月３日に99歳の誕生日を迎えた梶原トメさんに、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

梶原さんは新冠町の出身で、26歳で結婚。旧静内町で農機具販売をしていた夫を支えながら、３男２女の子どもを育てました。この日は、町内に住む長男のほか、千歳市や兵庫県宝塚市などから子どもたちがお祝いに駆けつけ、白寿を喜びました。

平成25年　秋の叙勲

瑞宝単光章（地方自治功労）

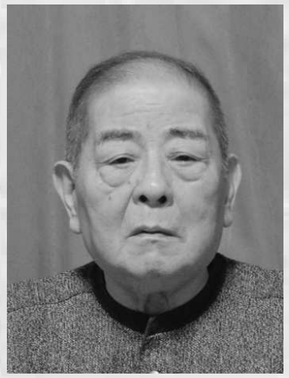
佐伯　好次 さん（68）＝静内末広町

佐伯さんは、昭和39年から平成18年まで42年の長きにわたり、ボイラー技士として、旧道立静内病院と静内保健所に勤務され、施設の維持管理業務など、利用者の安全確保に尽力されました。

受章について「24時間体制で稼働する病院でも、仕事が好きで休みもあまりほしくなかった。少年時代からの憧れだったボイラー技士の仕事を長く続けられ、受章できて嬉しい」と語りました。

瑞宝単光章（消防功労）

木下　良時 さん（75）＝静内御幸町



木下さんは、昭和32年に静内消防団に入団し、平成９年に消防団副団長で退任するまでの40年間、消防団幹部として豊富な知識と経験をもって消防団員の指導育成・技術向上に努め、地域の防災活動に尽力されました。

受章について「第一分団副分団長時代に出場した全道消防操法訓練大会で、指揮を執ったことが思い出深い。先輩や同僚、後輩に恵まれ、皆さんの支えのお陰で長く務めることができた」と語りました。

瑞宝単光章（農林水産業務功労）

田嶋　春光 さん（70）＝静内神森

田嶋さんは、昭和37年に農林水産省の新冠種畜牧場（現・家畜改良センター新冠牧場）に採用され、平成16年に種畜課総括作業長で定年退職するまでの41年間、乳牛の種雄牛の育種改良や飼養管理などの業務に尽力されました。

受章について「後代検定で優良牛が出てきた時が一番の喜びだった。海外で３か月間技術指導したことも思い出深い。支えてくれた職場の皆さん、妻に感謝しています」と語りました。